

令和3年度第2回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 令和3年8月5日（木） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎2階応接室
- 3 出席者 雲尾委員長、星野委員、山際委員
- 4 説明のための出席者
長谷川教育長、野水教育総務課長、平岡子育て支援課長、
熊倉小中一貫教育推進課長、星教育センター長、坂井教育総務課課長補佐、
佐藤教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 令和3年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 7 会議の経過及び結果
 - (2) 議事
 - ア 令和3年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について
 - (ア) 令和2年度教育に関する事務の事後評価シート（委員の意見に対する修正シート）
 - ・小中一貫教育推進課所管分について、熊倉小中一貫教育推進課長、星教育センター長が説明
(雲尾委員長)
小中一貫教育推進課所管分につきまして、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

まず、1－（1）「学校運営改善システムの構築」についてお願いします。

これはよろしいでしょうか。次に進みます。

次の1－（2）「開かれた学校づくり」についていかがでしょうか。

3ページの総合評価の2行目「学校や学園の経営方針の理解が進んだり、地域の方とともに学校や学園運営をしていく意識付けが図られたりしている」とありますが、前段と後段で主語が異なります。「学校や学園の経営方針の理解が進んだり」は「地域においては」という主語を入れ、「地域においては学校や学園の経営方針の理解が進んだり」として、その後は「学校においては」という主語を入れて、「学校においては地域の方とともに学

校や学園運営をいく意識付けが図られたりしている」とした方が、より丁寧かなと思います。

(星教育センター長)

そのように修正したいと思います。

(雲尾委員長)

では、次の1—(3)「教職員の資質や指導力の向上」についてはいかがでしょうか。

5ページの今後の推進方法の中で、「教育センター主催の研修を、今日的な課題や三条市の課題、教職員のニーズに即した内容に改善を図るとともに」とありますが、この記述ですと今はしていないように取れますが、実際はどうですか。

(星教育センター長)

現在も実施していますので、例えば「さらに教職員のニーズに即した内容に改善を図るとともに」というような記述に修正したいと思います。

(雲尾委員長)

ここは「改善を図る」が続くので、例えば「教職員のニーズに即した内容を一層充実させるとともに」や「内容を一層充実させるとともに、日々の実践に生かされるような演習等を取り入れた方法や形態を重点的に進める」というような記述に修正するなどして、今も実施しているけれども、さらに、内容を充実させるというような表現にしたほうがよいのではないかと思います。

他はよろしいでしょうか。

次の1—(4)「確かな学力の育成」についてはいかがでしょうか。特になければ進みます。

次の1—(5)「豊かな心を育む心の教育と体験活動の充実」につきましてはいかがでしょう。特になければ進みます。

次の1—(6)「健やかな体を育む健康教育、体力向上の取組の推進」につきましてはいかがでしょう。特になければ進みます。

次の2—(1)「ICT、グローバル化に対応した教育の推進」につきましてはいかがでしょう。特になければ進みます。

2—(2)「市民性を高める教育の推進」についてはいかがでしょうか。

16ページの第二指標に対する評価を書き直していただきましたが、下から3行目、「影響したということが」の後に点が残っていますが、この点の部分を削除してください。

(星教育センター長)

分かりました。

(雲尾委員長)

その他に2－(2)よろしいですか。

2－(3)「社会で自立するための特別支援教育の充実」についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

では、2－(4)「学校外における学びの機会の充実」についてはいかがでしょうか。

19ページの今後の推進方法の2段落目ですが、「教員OB等による指導員が児童生徒の学習状況等を毎回把握していることから、今後は児童生徒の様子を在籍校に伝える等、児童生徒の学習意欲の向上につながるような支援をしていく」とありますが、そもそもこの学びのマルシェに来ている子は自ら来ているので、学習意欲自体は高い子のはずです。その子達へ学習意欲の向上につながるような支援をしていくというのは、どういうことでしょうか。

(星教育センター長)

委員長のおっしゃるとおり、確かに自分から進んで学びのマルシェに参加しておりますので、学習意欲は高いと思います。

実際の指導を教員OBの方々にしていただくことによって、さらに次の授業、また翌週からの学校の勉強への意欲が、一層高まってもらいたいということを考えましてこの表現にさせていただきました。

(雲尾委員長)

そうかもしれませんが、学びのマルシェの学習状況を在籍校に伝えることで、学習意欲が向上することに資するのかということです。例えば、子供たちがこういう部分は自分で弱いと思って勉強したとか、こういう部分を伸ばしたというようなことを学校に伝えることで、学校側は何をどう働きかけて子供たちの学習意欲の向上につなげるのか、それとも教員の側が自分の指導方法を改善するとか、伸びていなかった部分は教え方の問題なのかとか、そういうようなことを考えるのか、何をするのか、この記述ではうまくつながっていないように思います。

(星教育センター長)

今ほどの御指摘から、例えば「今後は児童生徒の様子を在籍校に伝えることによって学校の教師の指導の改善を図り、さらに児童生徒の学習意欲の向上につながる」という記述に修正するなど、学校の教員の関わることを一言加えるということではいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

それが本当にできればよいのですが、伝えることによってそういう効果があるということでもよろしいですね。分かりました。

その他に2－(4)についてよろしいでしょうか。ありがとうございました。

・子育て支援課の所管分について、平岡子育て支援課長が説明

(雲尾委員長)

では、3－(1)「幼児教育内容の充実」についてはいかがでしょうか。

(山際委員)

21ページの2年度における評価の①ですが、「春に実施予定であった活動及び保護者の参加を中止した」の記述について、「春に実行する予定であった活動の参加を中止した」のように「活動を中止した」という記述は駄目でしょうか。保護者の記述は必要ですか。

(平岡子育て支援課長)

自然体験活動の取組につきましては、日本語として少し言葉が足りないことや言い回しが少しおかしいようにも感じていました。自然体験活動は春と秋に実施しております。春につきましては、昨年はコロナウイルス感染症が広がり始めた頃で、全国的に危機感を抱いた頃でした。そうした懸念もあって活動そのものを中止した経緯がございます。その後実施が可能となっても、保護者の参加についてを取りやめたということを表した文章です。

(雲尾委員長)

春に実施予定であった活動を中止し、それ以降については保護者の参加を取りやめたということでしょうか。

(平岡子育て支援課長)

そういうことでございます。

(雲尾委員長)

では、そのように記述を変えていただくことでお願いします。

(星野委員)

21ページの今後の推進方法の④ですが、私が「公表がなされるよう」というところを「公表がされるよう」に修正するよう意見を申し上げたところですが、後で読み返したところ、「評価結果が公表されるよう」という記述にしたほうがよいのかなと思いましたので、もし可能であればそのように修正をお願いします。

(平岡子育て支援課長)

御指摘のとおり修正させていただきます。

(雲尾委員長)

22ページの第一指標の主な構成事務事業の内容についてですが、3つの内容の主体がずれています。例えば「屋内や自然環境等において様々な遊びを体験することを通して」であれば、これは子供が主体になりますが、次は「子どもの多くの気づきや好奇心を誘発す

るとともに」となり、「自由に体を動かすことで運動能力を身に付ける」となります。これについて、行政側を主体とするのであれば、「遊びを体験させることを通して」とし、「運動能力を身に付けさせる」とします。事業的には子供が主体になるよりは行政側が主体となったほうがよいと思いますので、「屋内や自然環境等において様々な遊びを体験させることを通して、子どもの多くの気づきや好奇心を誘発するとともに、自由に体を動かすことで運動能力を身に付けさせる」という記述のほうが正しいと考えます。

(平岡子育て支援課長)

ありがとうございます。御指摘のとおり修正させていただきます。

(雲尾委員長)

その他に3-(1)はよろしいでしょうか。

では、3-(2)「幼保小連携の推進」につきましていかがでしょうか。

23ページの今後の推進方法の①1行目最後「保育所長会議や園長会議」になっていますが、園長会議というのは何を指すのでしょうか。

(平岡子育て支援課長)

保育所長会議は、公立は保育所の所長会議ですし、園長会議は、私立保育園の園長会議です。

(雲尾委員長)

では、これは幼稚園長会議ではなく保育園長会議ですね。

(平岡子育て支援課長)

はい、そうです。

(雲尾委員長)

正確に言うと、公立保育所長会議と私立保育園長会議ということですか。

(平岡子育て支援課長)

はい。

(雲尾委員長)

幼稚園長等の会議はないということですか。

(平岡子育て支援課長)

少し補足させていただきます。幼稚園は2園が市内にございますが、幼稚園を含めた会議については、実は無いのが現状です。公立、私立保育園についてはこうした会議を持って連絡体制を取ったり、いろいろな働きかけを行えますが、幼稚園については、例えばメールであったり文書を出したりで同様の内容をお願いしているところです。そうしたものを総合しまして「など」ということでくくらせていただきました。

(雲尾委員長)

問題がないのであれば公立保育所長会議や私立保育園長会議という形で正確に書いていただけますか。

(平岡子育て支援課長)

はい、分かりました。

(雲尾委員長)

3－(2)は他にありますか。次に進みます。

3－(3)「家庭への支援の充実」についていかがでしょうか。

25 ページ、総合評価の①の2行目に「小学校入学時に身に付けてほしい基本的な生活習慣や子どもとの接し方」とありますが、「入学時に身に付けてほしい」ということであると入学したその時に身に付けるということになりますが、「入学時に身に付けてほしい基本的な生活習慣」ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

(平岡子育て支援課長)

これは、内容的には入学の際にこうした行動ができるようにということでお示しているものですので、「身に付けてほしい」が正しい記述になるかと思います。

(雲尾委員長)

分かりました。

・教育総務課の所管分について、野水教育総務課長が説明

(雲尾委員長)

では、4－(1)についてよろしいでしょうか。

なお、表紙につきまして、令和2年度の後に半角スペースを入れ、事後評価シートのシートを削除、担当を主担当に、「ICT」を半角英数の「ICT」にすることの4か所の修正がありました。これについてよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(イ) 令和3年度教育に関する事務の点検及び評価報告書(案)

・小中一貫教育推進課所管分について、熊倉小中一貫教育推進課長、星教育センター長が説明

(雲尾委員長)

では、小中一貫教育推進課所管分につきまして、御質問、御意見等お願いいたします。

まず、3、4ページの1－(1)「学校運営改善システムの構築」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

4ページの1行目、そして今後の方針のところの5から6行目のところですが、「始め」

という言葉については、文科省のところの資料等の記載は平仮名だったと思いますので、こちらでも平仮名に修正をお願いします。

(雲尾委員長)

3ページの注1ですが、校務支援システムの解説の中で、「学籍、成績等、児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステム」とありますが、児童生徒に関する様々な情報とは3ページの下から3行目の「令和2年度中にメールや回覧板などの機能が加わり」とあるように、メールや回覧板機能での児童生徒に関する情報に限定されているものではないですね。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

同じ校務支援システムの機能を説明したのですが、上で示した内容と下で示した内容は違ったものとなりますので、説明を加えて分かりやすくしたいと思います。

(雲尾委員長)

1－(1)は他によろしいでしょうか。

では、4、5ページになります。1－(2)「開かれた学校づくり」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

4ページの主な事務事業の①の1行目ですが、ここにコミュニティ・スクールの後に「制度」という言葉を入れたほうがよいと思いました。5ページの今後の方針でもコミュニティ・スクール制度とありますので、ここでも「コミュニティ・スクール制度」にしてはどうでしょうか。

また、その次の文言の中で、「各学校」の後に「・学園」の記述が必要ではないかというところ です。

(星教育センター長)

主な事務事業の①のコミュニティ・スクールの後に「制度」を入れたいと思います。

また、その後の記述を「各学校・学園」としたいと思います。

(雲尾委員長)

あと、4ページの注の2の中、地方教育行政法の47条の6になっていますが、47条の5が正しいので修正をお願いします。

ここは他によろしいでしょうか。

では、1－(3)「教職員の資質や指導力の向上」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

6ページの今後の方針のところについて、文言を加えてはどうかという箇所がありますのでお願いします。今後の方針の3行目のところに2文目として「オーダーメイド訪問」

云々とありますが、この今後の方針を読ませていただくと、前文のほうは研修内容の改善について、また2文目は訪問支援体制のことということで、並列的に書かれているように思いますので、「オーダーメイド訪問」の前に平仮名で「あわせて」と接続詞を入れたほうがよいと思います。

(星教育センター長)

「オーダーメイド訪問」の前に「あわせて」の記述を加えます。

(雲尾委員長)

他に1－(3)はよろしいでしょうか。

では、1－(4)「確かな学力の育成」はいかがでしょう。

(星野委員)

7ページの今後の方針について、中段にある三条市授業スタンダードはかぎ括弧がついていますが、その次の小中一貫教育モデルカリキュラムや家庭学習プランニングノートにもかぎ括弧があったほうがよいと思いました。

(星教育センター長)

7ページの1行目にある三条市授業スタンダードもかぎ括弧がありませんので、ここも含めてかぎ括弧を3か所追加したいと思います。

(雲尾委員長)

次の1－(5)「豊かな心を育む心の教育と体験活動の充実」についてはいかがでしょうか。

この注の4はhyper-QUの説明をしていますが、そもそもQ-Uの説明はなくてもいいでしょうか。山際委員、例えばQ-Uと言われて分かりますか。

(山際委員)

分からないです。この前もそのお話をしたような気がします。

(雲尾委員長)

hyper-QUは説明されていますが、Q-Uの説明がないので加えてはどうでしょうか。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

分かりました。Q-Uの説明も加えたいと思います。

(雲尾委員長)

1－(5)について、他はよろしいですか。

それでは、1－(6)「健やかな体を育む健康教育、体力向上の取組の推進」についてはいかがでしょうか。

(山際委員)

1－(5)の今後の方針の中のポートフォリオシステムと1－(6)の施策の基本方針

の中の1学校1取組の括弧書きの説明が長いため、注意書きとして言葉の説明を付けたほうが分かりやすいと思います。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

8ページの今後の方針に出てくるポートフォリオシステムと同じく8ページの施策の基本方針に出てくる1学校1取組について、米印として欄外で説明を加えたほうがよいということでしょうか。そのように考え直してみたいと思います。

(雲尾委員長)

ありがとうございます。

では、1－(6)について他にございませんか。

(星野委員)

9ページの令和2年度における評価の文言の中で後段の部分です。後段の下から2行目のところ、「各学校・学園」という部分について、その2行上で「各学校」とあるので、この「各学校・学園」は取ってもいいのかなと思います。

(雲尾委員長)

これについてはどうですか。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

1学校1取組なので、学園としての取組ではないので、上のところは「各学校」というのをそのまま残して、後段の「学園」が余計だということを御指摘いただきましたので、削除したいと思います。「新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら、独自のプログラムを実践し」という記述としたいと思います。

(雲尾委員長)

1－(6)は他によろしいですか。

では、2－(1)「ICT、グローバル化に対応した教育の推進」についてはいかがでしょうか。

(山際委員)

細かいことだと思いますが、今後の方針の下から3行について、読点が少し多いように感じますので、修正をお願いします。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

分かりました。検討させていただきます。

(雲尾委員長)

他はよろしいでしょうか。

では、2－(2)「市民性を高める教育の推進」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

4点お願いいたします。

1点目は、12ページの今後の方針の中段にわくわく科学フェスティバルが出てきますが、ここはかぎ括弧をつけたらどうかということと、急にわくわく科学フェスティバルという文言が出てくることから、この前段の11ページにある令和2年度における評価の中でわくわく科学フェスティバルが令和2年度は実施されたのかどうかなども含めて説明があるとよいと思います。

2点目は、12ページの今後の方針の下から5行目ですが、「令和元年度の様子をHPで紹介したりする」とあることから、令和2年度は実施されなかったというふうに読み取れますが、そうであれば説明を加える必要があると思います。

3点目は、下から3行目ですが、「それを地域や保護者の連携」とあるところに「と」を加え、「それを地域や保護者との連携を図る先進例として」としてはどうかということです。

4点目は、今後の方針のところの上から5行目です。「新型コロナウイルス感染拡大の対策」ではなくて、「防止の対策」としてはどうかということです。

(星教育センター長)

1点目のわくわく科学フェスティバルについては、かぎ括弧をつけたいと思います。

2点目のわくわく科学フェスティバルに関しての説明についても加える方向で検討したいと思います。

なお、星野委員のおっしゃるとおり、わくわく科学フェスティバルは、令和2年度は実施できませんでしたので、そのことが分かるように記述を修正したいと思います。

3点目は、「保護者との連携を図る」に修正いたします。

4点目につきましても、同じく「新型コロナウイルス感染症防止の対策」という記述に修正いたします。

(雲尾委員長)

12ページの一番上の行の「中学校生」について「校」を取って「中学生」に修正をお願いします。

(雲尾委員長)

では、2-(2)はよろしいですね。

次に2-(3)「社会で自立するための特別支援教育の充実」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

2点ありまして、13ページの令和2年度における評価の部分と今後の方針のところをつなげてなんです、令和2年度における評価の最後の2行ですが、この部分と今後の方針

の4行目「教職員を対象に」から「研修会を継続して実施していく」の部分について、これは同じ内容と読み取れますので、今後の方針のほうを削除する形で記述を修正してはどうかというのが1点目です。

2点目は、今後の方針の最後の2行、「就学相談」云々のところを、この前に「あわせて」という接続詞を入れて、前文に改行しないで続けたほうがよいのかなと私は思いました。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

ただ今の2点の御指摘については、もう一度読んだ上で整理し、修正したいと思いますので、よろしくお願いします。

(雲尾委員長)

その他よろしいですか。

(山際委員)

米印の部分は修正していいですか。12ページのインクルーシブ教育システムの説明についてです。

「障がい者が持てる力を可能な限り最大限度まで発達させ」とありますが、もう少し整理できないかと思います。

(雲尾委員長)

可能な限りと最大限度までとが表現として重なって感じるということでしょうか。

(山際委員)

はい。

(雲尾委員長)

説明文の引用元などはありますか。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

この説明文の引用元については担当に確認していませんが、この部分の言い回しが適切かどうかを検討させていただきたいと思います。

(山際委員)

13ページの2年度における評価の中の「特別支援サポーター（パートタイム職員）」から「65人」という文言が数回出てきますが、「同人数」など表現を変えた方が見やすいと思います。

(熊倉小中一貫教育推進課長)

同様の言葉が続くため、別の言葉に修正できるか検討させてください。

(雲尾委員長)

では、2-(4)「学校外における学びの機会の充実」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

14 ページの今後の方針のところですが、3点お願いします。

1点目は、5行目の「教員OB等による」のところは、改行したほうがよいと思います。

2点目は、その次の段落の途中にあります「さらに」という言葉について、これは漢字の「更に」だと思います。

3点目は、下から4行目、ジャンプアップ教室について、新設されたということなのでかぎ括弧をつけたほうがよいと思いました。

(星教育センター長)

2段落目については改行したいと思います。

そして、「さらに」を漢字にするというところ、そしてジャンプアップ教室はかぎ括弧をつけるということで修正いたします。

(雲尾委員長)

他はよろしいでしょうか。ありがとうございました。

・子育て支援課の所管分について、平岡子育て支援課長が説明

(雲尾委員長)

では、3-(1)「幼児教育内容の充実」についていかがでしょうか。

(星野委員)

16 ページについて、2点お願いします。

まず、1点目は今後の方針の③ですが、文章の意味が分からなかった部分がありまして、2行目のところ、後段に「中核的な役割を担う保育士の力量の向上及びその成果を各施設に還元し」とありますが、還元するのは、その成果は還元すると思いますが、その力量の向上についても還元するのでしょうか。文を読んでいっても、還元するのが何なのか私も分からなくなっていました。例えば、「保育士の力量の向上を図るとともに、その成果を各施設に還元し」というような記述であれば、私としては納得がいきましたが、実際はその部分をどのように読み取ればよいのかを教えてください。

2点目は今後の方針の①の3行目に「幼児保護者」という言葉が出てきますが、最初これは幼児の保護者だと思って読んでいたのですが、19 ページを見ると、今度は「乳幼児保護者」という言葉が出てきたので、そういう意味なのかと思いながらも、そうであれば「乳幼児」の「乳」は要らないのかなとも思いました。どのように読み取ればよいか教えてください。

(平岡子育て支援課長)

まず、16 ページの③についてですが、これは御指摘のとおり「を図るとともに」と修正

したいと思います。

また、①の「幼児保護者」と19ページの「乳幼児保護者」とありますが、これにつきましては「幼児の保護者」や「乳幼児の保護者」ということで、「の」を加えた形で修正させていただきます。

(雲尾委員長)

3－(1)は他によろしいでしょうか。

では、3－(2)「幼保小連携の推進」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

18ページの今後の方針のところでは2点お願いします。

1点目は、③の文言のところでは2行目の「『スタートモデルカリキュラム』の活用状況については」とありますが、「の活用状況について」というところを削除してはどうかということです。理由は、その後の文のつながりを見ると、「多くの施設で活用されるよう」、あるいは文末の「促進を図っていく」というところにつながるのですが、「活用状況」という文言があると文としてしっくりいかないように私は感じました。あわせて、③の一番下の行のところの「周知・浸透を」の後の「進め活用の促進を」という部分を削除して、「周知・浸透を図っていく」にしてはどうかということです。

2点目は、そのような使い方を行っているかどうか確認していないので申し訳ないのですが、18ページの②の3行目の中ほどに「小学校へのスムーズなつながりのため」の「つながり」という言葉がありますが、これを「接続」という言葉に変えてもいいのではないかと思います。

また、16ページの4行目にも同じように「つながり」という言葉がありますが、このときの「つながり」は何か分かるような気もするのですが、18ページの「つながり」は「接続」のほうがいいように思います。しかし、教育委員会でそのような使われ方をされているのであればこだわらないのですが、「接続」という言葉でもいのかないかと思いました。

(平岡子育て支援課長)

18ページの③の「の活用状況について」という部分ですが、御指摘のとおり重複しておりますので、ここは削除させていただきたいと思います。

2点目の「活用の促進を」は要らないのではないかと御指摘でございますが、これにつきましては、まずは周知ということで、知っていただくこと、そして、それをごく当たり前として浸透を図っていくことが大事であると考えておりました、その上で更に踏み込んで、そのプログラム、カリキュラムに書いてある内容を活用していただくことが必要でありますので、この一節は残させていただきたいと考えております。

そして、18ページ②の「幼保から小学校へのスムーズなつながり」の「つながり」という言

葉につきましては「接続」が適切かと考えておりますので、訂正させていただきたいと思
います。

それに併せて御指摘いただきました16ページの上から4行目の「つなぎ」という言葉
につきましては、これは「接続」というよりは、むしろ障がいのあるお子様を適切なサー
ビスへつないでいくという言葉から来ておるものですから、これはこのまま残させていた
だきたいと考えております。

(雲尾委員長)

先ほどの18ページの今後の方針の③の最後の文章ですが、「周知・浸透を進め活用の
促進」という文章の中で、「周知・浸透」に「進める」という言葉が合わないのではない
かと思います。また、「促進」にも「進む」という言葉が入っているため違和感があるの
だと思います。これを「周知・浸透を図り、活用を促進していく」というように修正して
はどうでしょうか。

(平岡子育て支援課長)

ただ今の委員長御指摘のとおり、修正させていただきたいと考えております。

(雲尾委員長)

では、3-(2)はよろしいでしょうか。

次に、3-(3)「家庭への支援の充実」はいかがでしょうか。

(星野委員)

20ページの今後の方針で2点お願いいたします。

1点目は、今後の方針の②のところで「感染症対策」とありますが、ほかのページでは、
新型コロナウイルス感染症対策と記載されていますので、ここもそのように合わせたらど
うかというところです。

もう一点は同じく②の下から2行目で「子育て中の親子の支援」という記述に違和感が
あります。私も代案がないのですが、修正したほうが良いように思います。

(平岡子育て支援課長)

大変失礼いたしました。「感染症対策」につきましては、御指摘のとおりでございます。
ほかと足並みそろえたいと考えております。

また、「子育て中の親子の支援」についてですが、これも日本語としておかしいところ
がございますので、「子育ての支援の場を広げていく」と修正したいと考えております。

(雲尾委員長)

19ページでNP講座について注釈をつけていますが、これに注釈をつけるのであれば、
「NP(Nobody's Perfect「完璧な親なんていない」)講座」の中の「Nobody's Perfect「完
璧な親なんていない」の部分が要らなくなると思います。本文を「NP講座」(※10)を

開催する」として、「Nobody's Perfect「完璧な親なんていない」」は注の文章の中に入れてほうがいいのかと思います。

(平岡子育て支援課長)

本文の中では、御指摘のとおり「NP 講座」という言葉としてとどめさせていただきたいと思います。そして、注釈に「Nobody's Perfect「完璧な親なんていない」」の文言を入れたいと思います。

(雲尾委員長)

主な事務事業①の注釈に「Nobody's Perfect「完璧な親なんていない」」を入れることとして、19 ページの最後の段落のところは NP 講座のみに修正します。

その後の文章で、「アンケートの中で「自分だけだと思っていた悩みを共有でき、気が楽になった。」や「自分のアドバイスが他の人の役に立ててうれしかった。」などの回答があり、子育ての不安解消や自信を持つことにつながった」とあります。1つ目の「自分だけだと思っていた悩みを共有でき、気が楽になった」というのが子育ての不安解消を表すのは分かるのですが、次の「自分のアドバイスが他の人の役に立ててうれしかった」が自信を持つことにつながったということが、よく分からないのですが。

(平岡子育て支援課長)

委員長が指摘した部分について、自分自身のアドバイスが他の人の悩み解消につながり、それを積み重ねていくことが親として自信の構築につながっていくと捉えたことから、このように記述させていただきました。

(雲尾委員長)

感情としては嬉しかったことは分かりますが、それが「自信を持つことにつながった」とあります。「自信」というのは何の自信でしょうか。

(平岡子育て支援課長)

子育てに対する親としての自信ということを含んでおります。

(雲尾委員長)

嬉しかったという言葉が、直接自信を持つことにつながったと断言していいかどうかというのが少し飛躍があるように思えます。「子育ての不安解消や」の後に読点を入れて、「ひいては子育てに対する自信を持つことにつながると考えられる」程度であれば、内容的には言えるのではないかと思います。

(平岡子育て支援課長)

私ども所管としましては、希望的観測も込めて自信につながったと断言したいところではございますが、あくまでも我々がアンケートを受けて考えたことでございますので、そこは委員長御指摘のとおり、「ひいては自信を持つことにつながっていると考えられる」

という記述とし、少し一歩引くような表現に修正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

3－(3)はよろしいでしょうか。ありがとうございました。

・教育総務課の所管分について、野水教育総務課長が説明

(雲尾委員長)

では、4－(1)「豊かな教育活動を支える環境の整備」についていかがでしょうか。

(星野委員)

3点お願いします。

1点目は、21ページの今後の方針の1点目は下から3行目のところ、「また」のところは改行になるということと、2点目は、たしか第1回の回答の中に、特別教室と併せて体育館という言葉もあったように記憶しているのですが、体育館の文言は入れなくてもいいでしょうか。

3点目は、24ページの教育委員会の会議の中で、三条市議会第6回定例会または臨時会の報告がないようですが、これは何か事情があつてないのか、それとも記載漏れでしょうか。

(野水教育総務課長)

最後に御指摘の三条市議会第6回定例会または臨時会の報告がないことについては、議事録等を再度確認したいと思います。基本的には、市議会で教育委員会の議案がない場合は、教育委員会定例会での報告もありませんが、一度確認させていただきたいと存じます。

それから、最初に御指摘をいただきました今後の方針において、「また」の部分は改行とさせていただきます。

そして、特別教室の部分で体育館の言及もあつたのではないかとということでございます。

前回の私の説明の中で、確かにそのように申し上げたかと思えます。実際に学校現場におきまして普通教室への整備がほぼ完了した中、今後整備をしていくべき場所について、現場の意見をアンケートという形で調査をしているところでございます。その中には委員御指摘の体育館という部分も当然含まれてございまして、特別教室だけでなく、体育館も含めた環境整備も考えていく必要があると思っておりますので、これについては例えば特別教室等という形にするか、体育館ということで具体のところを記述するかを少し検討させていただきたいと思えます。ただ、特別教室に限定したものではないということが分かるような表記に改めさせていただきたいと思えます。

(雲尾委員長)

25 ページの3番「教育委員の学校訪問」の文章について、「児童生徒の活動の様子等を把握して」の後の読点は必要ないと思います。

(野水教育総務課長)

そのように修正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

その他はよろしいですか。

それでは、報告書案全体についていかがでしょうか。

(星野委員)

目次のところの表記ですが、大きな項目の2番目に「点検・評価対象項目」とありますが、各ページの表題に準ずるのであれば、2番目は「主要な施策に対する評価等について」とした方がいいと思います。

(野水教育総務課長)

こちら報告書本文との整合をもう一度確認させていただきまして、今ほど御指摘のとおり、Ⅱのところは「主要な施策に対する評価等について」という表記に改めさせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

目次ですけども、もう一度戻っていただくと、修正シートのほうで「担当」を「主担当」にしたので、こちらも「主担当」としてください。修正シートでは「小中一貫教育」で改行し「推進課」となりますが、報告書(案)は「小中一貫」で改行して「教育推進課」となっています。字のバランスから言えば、「小中一貫」で改行したのほうがいいように思いますが、「小中一貫教育」と「推進課」で分かれたほうが気持ち的にはいいように思います。

(野水教育総務課長)

後者のほうで修正させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

それから、R1の評価で文字がゴシック体になっているところとなっていないところがありますが、これは何か意図があるのでしょうか。

(野水教育総務課長)

表記、字体の使い分けについては、特に意図はございません。令和2年の直近の評価対象となったところだけ分かりやすくするようにゴシック体とすべきでしたので、R1の評価ところは平成30年の評価と同じく明朝体で表記を統一させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

その他はよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(3) その他

- ・今後の作業の流れについて野水教育総務課長が説明

(雲尾委員長)

その他ございませんでしょうか。なければ閉会とさせていただきます。

(4) 閉会宣言 午後 3 時 40 分